

2024 年第 3 回 ABAC（東京）会議【仮訳】

2024 年 8 月 4 日

東京、日本

アジア太平洋地域のビジネス界代表は、経済成長が低調で気候変動リスクが高まるなかで、より力強い行動を APEC に求める

今週、東京にて会議を開いた APEC ビジネス諮問委員会（ABAC：APEC Business Advisory Council）は、貿易、デジタル化、気候変動対策を促進するために APEC に決定的な行動を求めた。

ABAC 議長フリア・トレブランカ氏は、「貿易と投資にかかわる障壁の除去、デジタル化の推進、気候変動対策の加速、が急務である。もはやこれ以上の猶予はない」と述べた。

これらの課題に対処するための提言を ABAC が「人、ビジネス、繁栄」という今年のテーマのもとで取りまとめ、本年 11 月にペルーの首都リマにて開催される APEC 首脳会議において正式に提出することをトレブランカ議長が発表した。ABAC はまた、APEC の財務、保健、エネルギー、食料安全保障、中小企業、といった分野別担当大臣に対しても詳細な提言を作成した。

「われわれの目標を達成するためには、より強い土台の上に構築された継ぎ目のないビジネス環境を必要としている。APEC はアジア太平洋自由貿易圏構想を現実のものとしなければならないし、世界貿易機関（WTO：World Trade Organization）の関与と有効性を維持すべきである。」と議長は強調した。「デジタル貿易に対する関税適用を防ぎ、重要な土台となる WTO の新たな電子商取引協定を APEC のすべての国・地域が加わるべきである。」議長はまた、APEC 投資円滑化アジェンダを更新し、サプライチェーンに関する協力を促進すべきであると主張した。

議長はさらに、「ABAC がもうひとつ注力しているのが域内で相互運用可能なデジタル化を促進することであり、小規模企業が相互運用可能なペーパーレス貿易や人工知能といったデジタルツールを利用できるようにすることである。それらを、リスクを低減しながら、AI がもたらす利益を最大化する AI の枠組みに組み込み、とりわけ労働者に利益をもたらす必要がある。われわれはさらに、中小企業、とりわけ女性経営者や先住民起業家、またインフォーマル経済下の人々が、成功するための具体的方策を特定した」と述べた。

最後に気候危機に関してトレブランカ議長は、持続可能で強靱性のある成長のために APEC が一致して緊急に行動することを呼びかけた。「世界は 12 か月連続して、工業化以前の時代より 1.5°C以上高い気温を経験してきた。エネルギー転換、イノベーション、災害に対する耐性のための金融を開放し、さらに拡張することが肝要である。われわれはまた、サプライチェーン全体にわたり排出を低減することを支援し、低炭素経済への移行を促すためのグリーン化された貿易枠組みを推進している」と議長は強調した。

ABAC 会議参加者は、東京で日本のビジネス界との間のさまざまなイベントに参加する機会を得た。そのなかには、岸田文雄総理大臣、上川陽子外務大臣、齋藤健経済産業大臣、河野太郎デジタル大臣、小池百合子東京都知事が出席されたイベントも含まれていた。トレブランカ議長は、日本政府側に対して APEC に対する変わらぬサポートに感謝し、会議を見事に主催した ABAC 日本に対して感謝の意を述べた。

以上

<2024年第3回ABAC（東京）会議の様子>



ABAC委員の集合写真（中央は岸田文雄総理大臣、その右隣はペルーのフリア・トレブランカ ABAC 議長）



1日（木）デジタルに関するラウンドテーブルにおいて河野太郎デジタル大臣を囲む ABAC 委員



2日（金）日本政府主催レセプションにおいて挨拶する上川陽子外務大臣（左）、齋藤健経済産業大臣（右）